



Your dreams. Woven together.

2012年6月期 第3四半期決算説明会

2012年5月15日

(証券コード: 7747 東証二部、名証二部)



目次

1. 2012年6月期(3Q累計)連結決算の概要

2. 2012年6月期(通期)連結業績見通し



目次

1. 2012年6月期(3Q累計)連結決算の概要

2. 2012年6月期(通期)連結業績見通し



2012年6月期(3Q累計)決算のポイント

■ 売上高は10,968百万円(前年同期比△8.9%)

● 末端需要堅調なものの、タイ洪水影響・円高・直販化に伴う在庫買取等に伴い減少

- 増収要因 {
 - メディカル事業・特に欧州市場の売上が増加。販売代理店変更に伴い好調に推移。
- 減収要因 {
 - 第2四半期以降のタイ国における大規模な洪水の影響
 - 国内直販化に向けた代理店の倉庫在庫圧縮に伴う供給縮小調整・病院在庫の買取(返品)
 - 円高・ドル安・ユーロ安の為替の影響による売上高の減少(△230百万円)

■ タイ洪水影響・円高・直販化に伴う在庫買取等の影響を受けるも 営業・経常利益は計画を上回る水準

● 売上総利益は7,518百万円(前年同期比 △7.3%) (粗利率 68.5% 前年同期比1.2ポイント上昇)

- タイ洪水に伴うタイ工場の操業停止中の固定費などを特別損失に振替処理

● 営業利益は1,781百万円(前年同期比 △37.7%)

- 開発強化に伴う研究開発費用(1,347百万円)の増加 (前年同期比+60百万円、売上高比率12.3%)
- 営業関係費用の増加など

● 経常利益は1,915百万円(前年同期比△32.3%)

- 営業外収益に円安の影響による為替差益(95百万円)を計上(前期は為替差損62百万円計上)

● 四半期純利益は418百万円(前年同期比△77.8%)

- 災害に伴う保険金収入(1,071百万円)を特別利益に計上
- 災害に伴う損失(2,207百万円)を特別損失に計上

※「災害保険金」及び「災害による損失」は全額ではなく、現在までに判明・確定した一部のみを計上



決算ハイライト

	2011年6月期 3Q累計実績		2012年6月期 3Q累計実績						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	計画	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比		計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	12,039	100.0	10,600	10,968	100.0	△1,070	△8.9	+368	+3.5
売上総利益	8,109	67.4	-	7,518	68.5	△590	△7.3	-	-
営業利益	2,859	23.8	1,448	1,781	16.2	△1,077	△37.7	+333	+23.0
経常利益	2,828	23.5	-	1,915	17.5	△912	△32.3	-	-
(四半期) 純利益	1,883	15.6	-	418	3.8	△1,464	△77.8	-	-
EPS	118.78 円	-	-	26.47円	-	△92.31円	-	-	-



セグメント別売上高

	2011年6月期 3Q累計実績		2012年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	9,633	80.0	8,939	81.5	△693	△7.2
デバイス事業	2,405	20.0	2,028	18.5	△377	△15.7
合計	12,039	100.0	10,968	100.0	△1,070	△8.9

(参考)

医療機器分野	10,727	89.1	9,946	90.7	△781	△7.3
産業機器分野	1,311	10.9	1,021	9.3	△289	△22.1

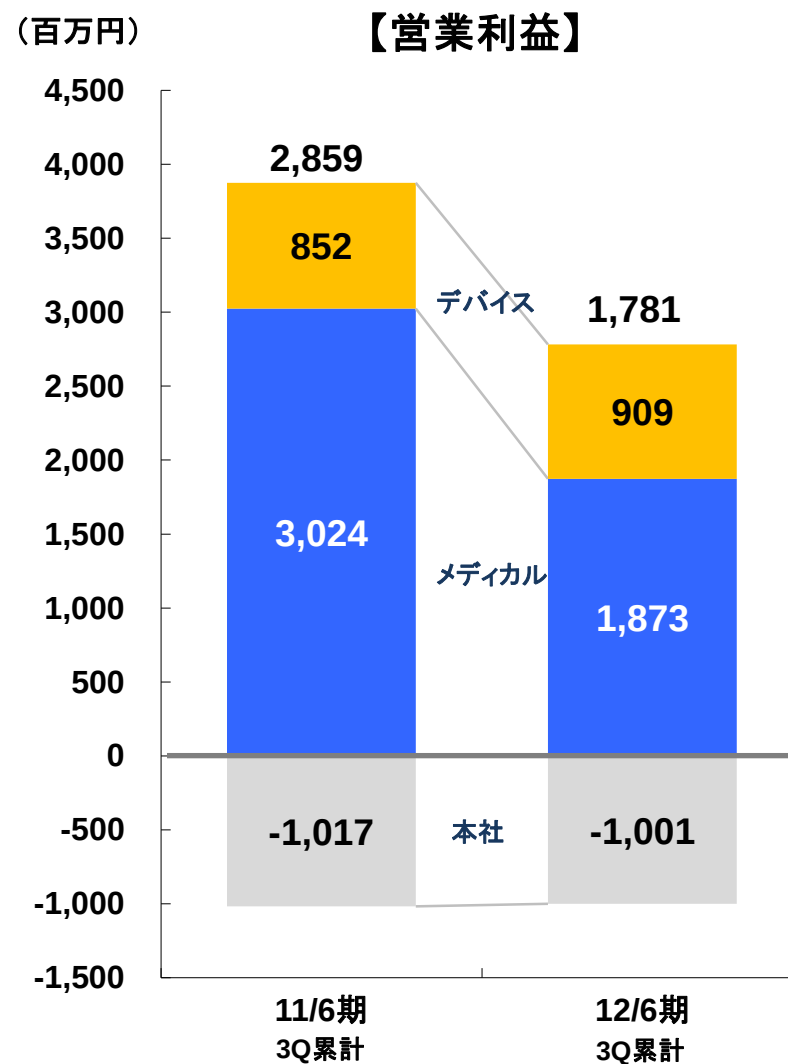
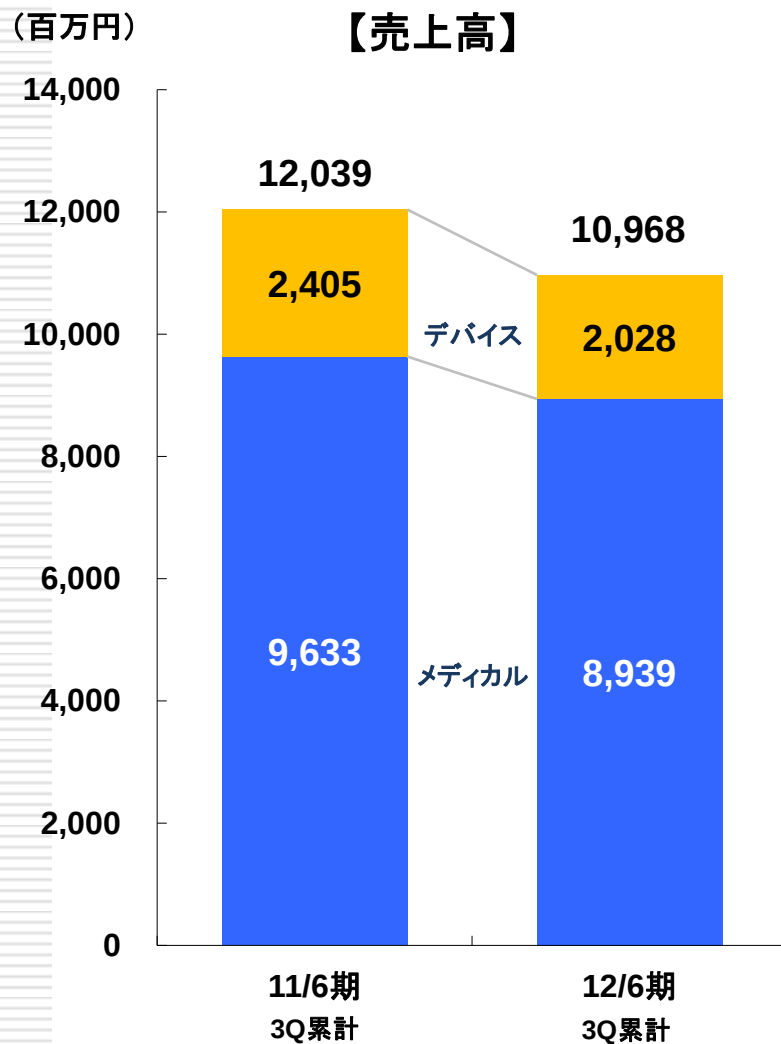


セグメント別営業利益

	2011年6月期 3Q累計実績		2012年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	3,024	78.0	1,873	67.3	△1,150	△38.1
デバイス事業	852	22.0	909	32.7	+56	+6.7
計	3,877	100.0	2,783	100.0	△1,094	△28.2
消去・全社	△1,017	-	△1,001	-	+16	△1.6
合計	2,859	-	1,781	-	△1,077	△37.7



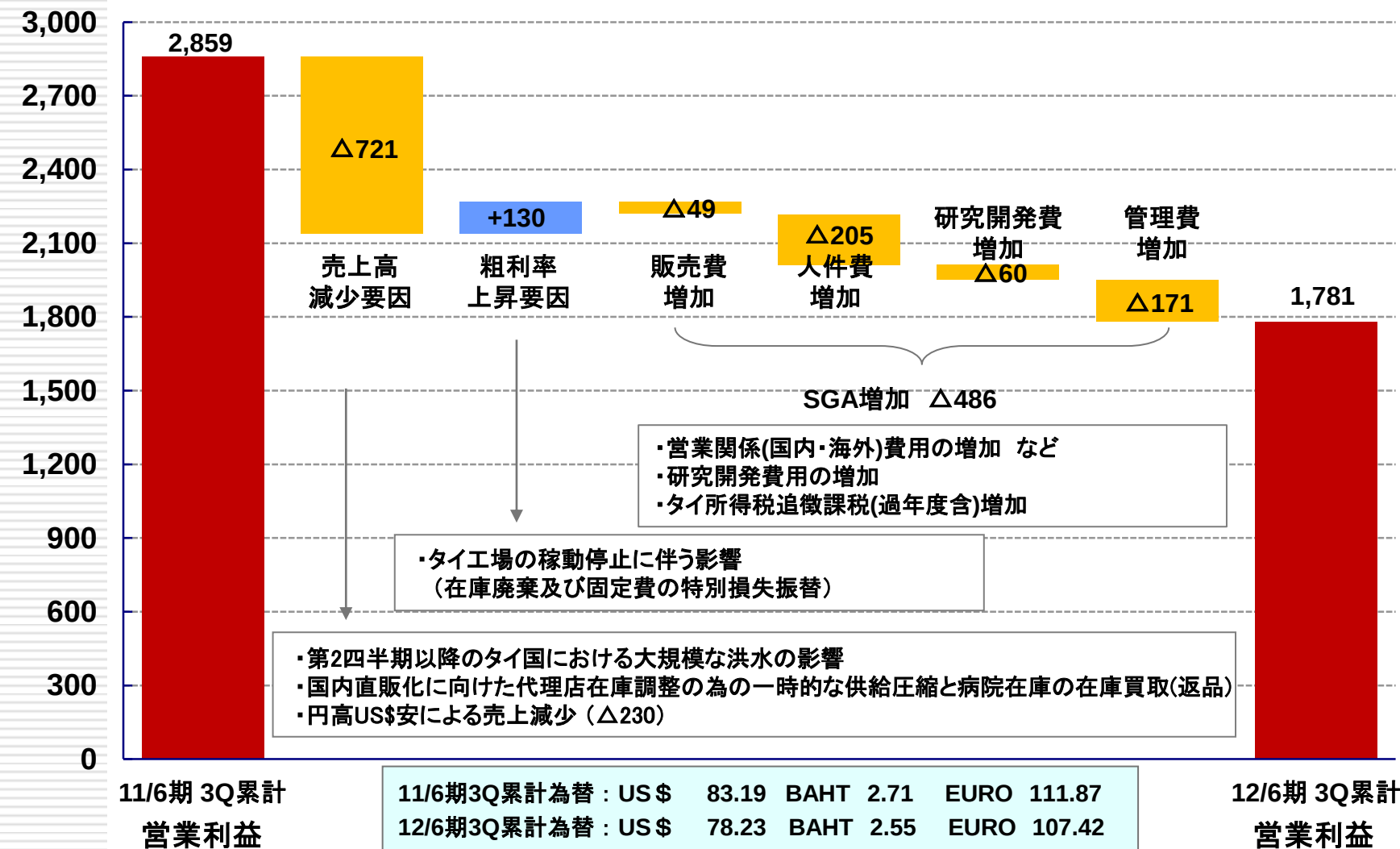
セグメント別の収益状況





営業利益増減要因分析-1(為替の影響を含む)

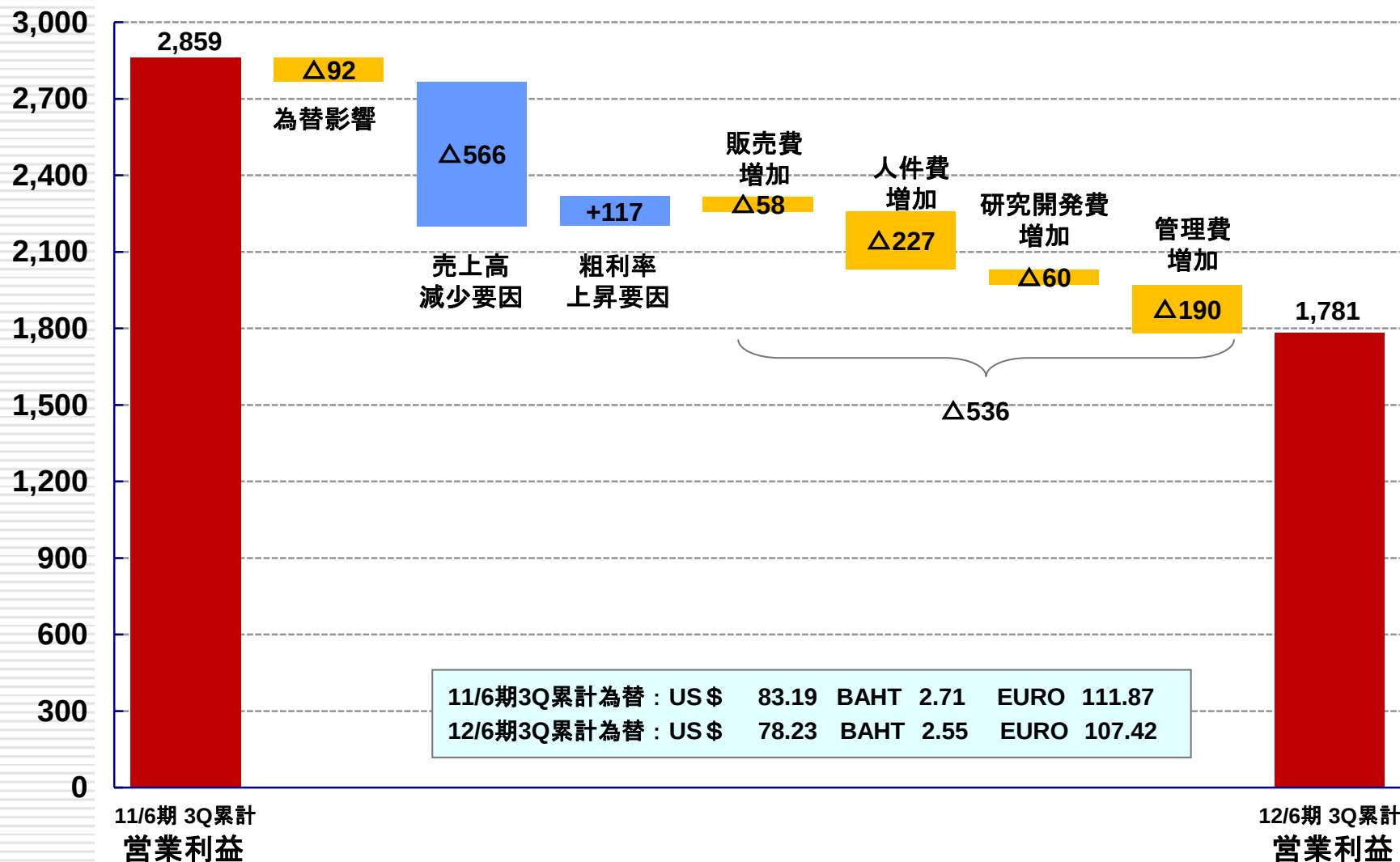
(百万円)





営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)

(百万円)





メディカル事業の状況(地域別-1)

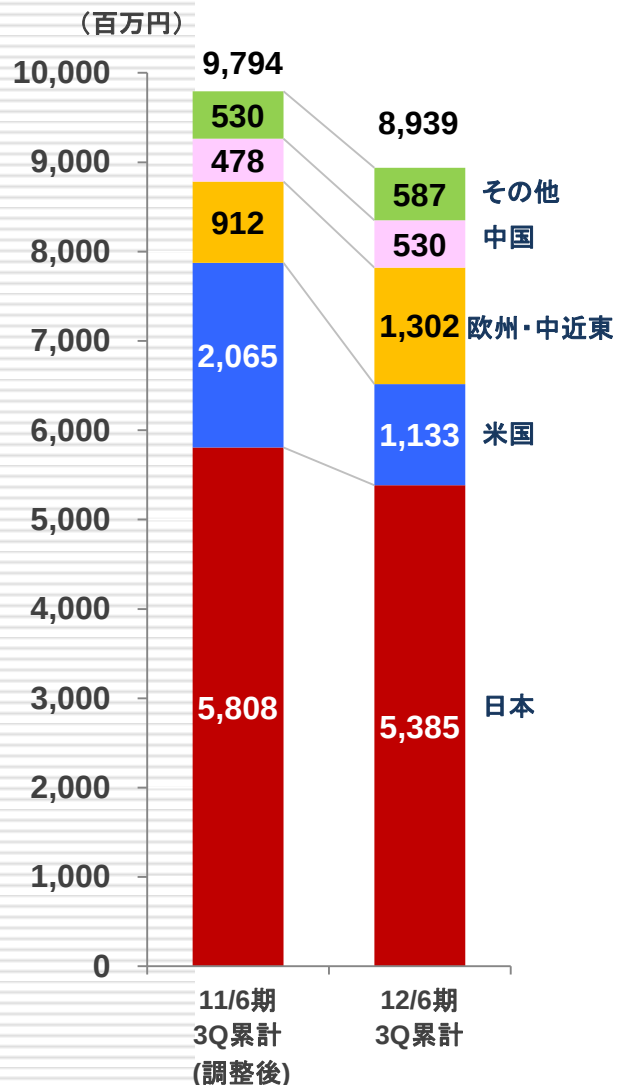
(単位:百万円)

		11/6 3Q累計		12/6 3Q累計	(調整後)前年同期比	
		調整前	調整後 *		増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)		83.19		78.23	△4.96	△6.0
売上高合計		9,633	9,794	8,939	△854	△8.7
	日本	5,737	5,808	5,385	△422	△7.3
	海外	3,895	3,986	3,554	△432	△10.8
	米国	1,974	2,065	1,133	△931	△45.1
	欧州・中近東	912	912	1,302	+390	+42.8
	中国	478	478	530	+52	+10.9
	その他	530	530	587	+57	+10.7
営業利益		3,024	—	1,873	△1,150	△38.1

*: (調整後) 朝日インテックジーマ株式会社のセグメント区分変更に伴う影響額を調整



メディカル事業の状況(地域別-2)



【売上高】

■ 日本: PTCAガイドワイヤーの直販化に伴う一時的な売上の減少

- PTCAガイドワイヤー:
国内直販化に向け、代理店名義の病院在庫の買取(返品)と代理店社内在庫圧縮のための供給調整を実施し、一時的に売上が減少
なお、“SIONシリーズ”を中心として末端市場では好調に推移

- 貫通カテーテル“ Corsair “が好調に推移
- タイ洪水に伴うOEM取引(内視鏡関連製品)の減少

■ 海外: 円高影響にあるものの、特に欧州市場が好調に推移 米国はタイ洪水に伴う一時的な供給調整

- 円高ドル安ユーロ安の影響(△175百万円)
- 米国: ドル安影響に加え、
タイ洪水影響に伴うアボット社向けPTCAガイドワイヤー取引の供給調整
- 欧州: ユーロ安影響受けるも、PTCAガイドワイヤーの代理店切替に伴い順調に推移
- 中国: ドル安やタイ洪水の影響受けるも、PTCAガイドワイヤー取引は好調に推移

【営業利益】

- 売上減少、直接販売に向けた営業関係費用の投下や
開発強化に伴う研究開発費の増加により販管費が増加し減少



メディカル事業の状況(患部領域別-1)

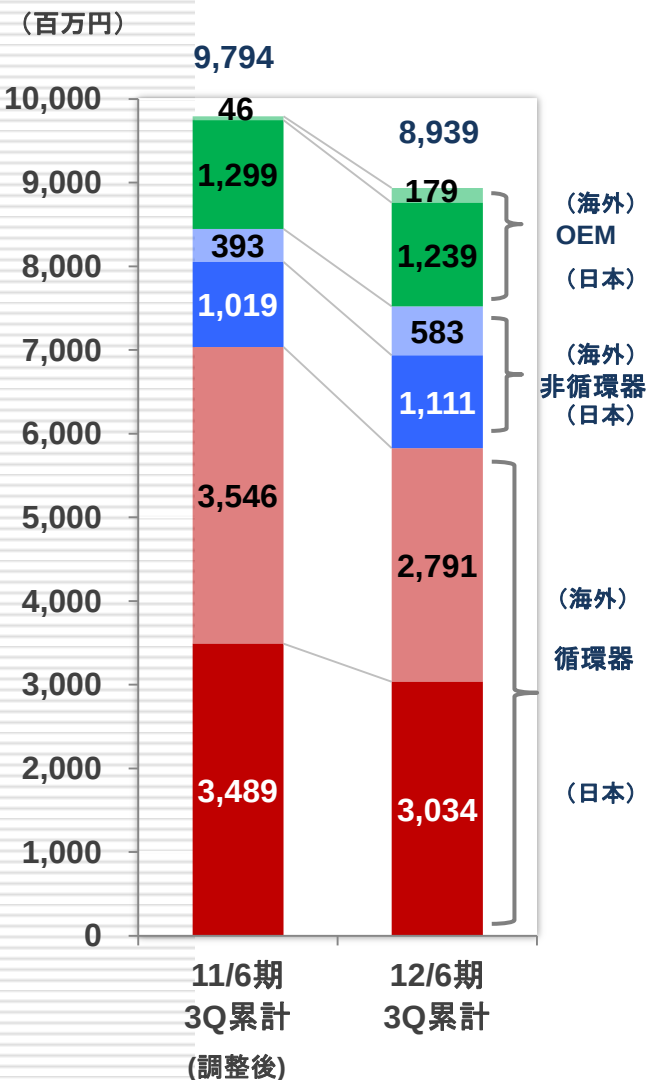
(単位:百万円)

		11/6 3Q累計		12/6 3Q累計	(調整後)前年同期比	
		調整前	調整後*		増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)		83.19		78.23	△4.96	△6.0
売上高合計		9,633	9,794	8,939	△854	△8.7
	日本	5,737	5,808	5,385	△422	△7.3
	海外	3,895	3,986	3,554	△432	△10.8
循環器		7,036	7,036	5,825	△1,211	△17.2
	日本	3,489	3,489	3,034	△455	△13.1
	海外	3,546	3,546	2,791	△755	△21.3
非循環器		1,251	1,412	1,694	+281	+19.9
	日本	948	1,019	1,111	+92	+9.0
	海外	302	393	583	+189	+48.2
OEM		1,345	1,345	1,419	+74	+5.6
	日本	1,299	1,299	1,239	△59	△4.6
	海外	46	46	179	+133	+290.9

*: (調整後) 朝日インテック・ジーマ株式会社のセグメント区分変更に伴う影響額を調整



メディカル事業の状況(患部領域別-2)



循環器

- 日本: PTCAガイドワイヤーの国内直販化に向け、代理店名義の病院在庫の買取(返品)と代理店社内在庫圧縮のための供給調整を実施し一時的に売上が減少
なお、“SIONシリーズ”を中心として末端市場では好調に推移

- 海外: 円高影響にあるものの、特に欧州市場が好調に推移
米国はタイ洪水に伴う一時的な供給調整

- 米国: ドル安影響に加え、タイ洪水影響に伴うアボット社向けPTCAガイドワイヤー取引の供給調整
- 欧州: ユーロ安影響受けるも、PTCAガイドワイヤーの代理店切替に伴い順調に推移
- 中国: ドル安やタイ洪水の影響受けるも、PTCAガイドワイヤー取引は好調に推移

非循環器

- 主に抹消血管系・腹部血管系が増加

OEM

- 日本: タイ洪水影響に伴う内視鏡関連製品の減少
- 米国: 循環器系検査用ミニガイドワイヤーのOEMの増加



デバイス事業の状況-1

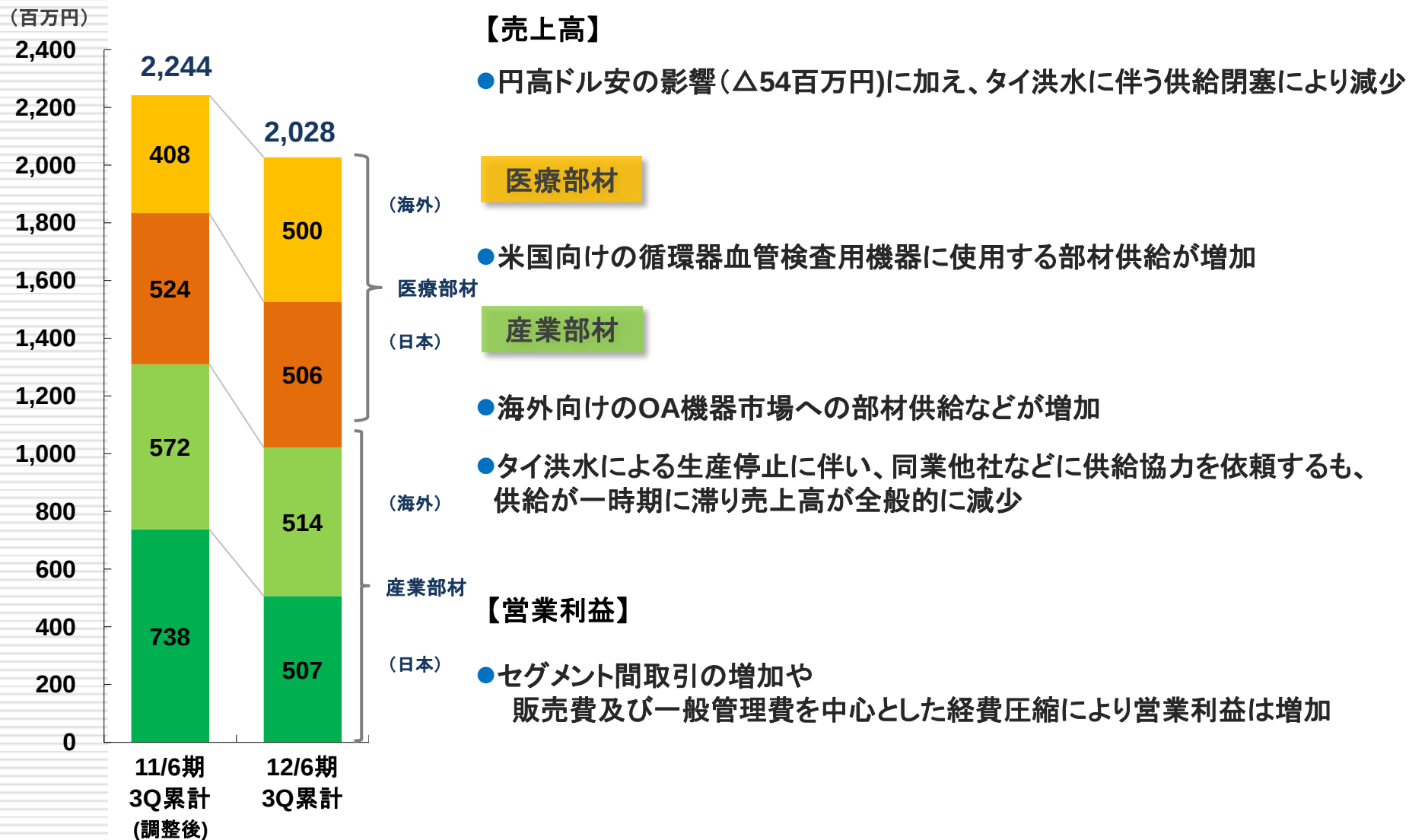
(単位: 百万円)

	11/6 3Q累計		12/6 3Q累計	(調整後)前年同期比	
	調整前	調整後*		増減額	増減率(%)
(為替レート: ドル)	83.19		78.23	△4.96	△6.0
売上高合計	2,405	2,244	2,028	△215	△9.6
日本	1,333	1,263	1,013	△249	△19.7
海外	1,072	981	1,014	+33	+3.4
医療部材	1,094	933	1,006	+73	+7.9
日本	595	524	506	△18	△3.5
海外	499	408	500	+91	+22.4
産業部材	1,311	1,311	1,021	△289	△22.1
日本	738	738	507	△231	△31.3
海外	572	572	514	△58	△10.1
営業利益	852	—	909	+56	+6.7

* : (調整後) 朝日インテック・ジーマ株式会社のセグメント区分変更に伴う影響額を調整



デバイス事業の状況-2





ご参考：損益の状況

	2011年6月期 3Q累計実績		2012年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	12,039	100.0	10,968	100.0	△1,070	タイ洪水に伴う一時的な供給調整 国内直販化に向けた供給制限と返品 円高影響△230百万円
売上原価	3,929	32.6	3,450	31.5	△479	タイ未稼働時の固定費を特別損失振替
売上総利益	8,109	67.4	7,518	68.5	△590	
販管費	5,249	43.6	5,736	52.3	+486	営業関係費用や研究開発費用などの増加
営業利益	2,859	23.8	1,781	16.2	△1,077	
営業外収益	83	0.7	183	1.7	+99	為替差益の増加 +95
営業外費用	114	0.9	48	0.4	△65	為替差損の減少 △62
経常利益	2,828	23.5	1,915	17.5	△912	
特別利益	2	-	1,091	9.9	+1,088	タイ災害に伴う災害保険金 1,071百万円
特別損失	299	2.5	2,328	21.2	+2,028	タイ災害に伴う損害による損失 2,207百万円
四半期純利益	1,883	15.6	418	3.8	△1,464	
四半期包括利益	1,981	16.5	529	4.8	△1,451	



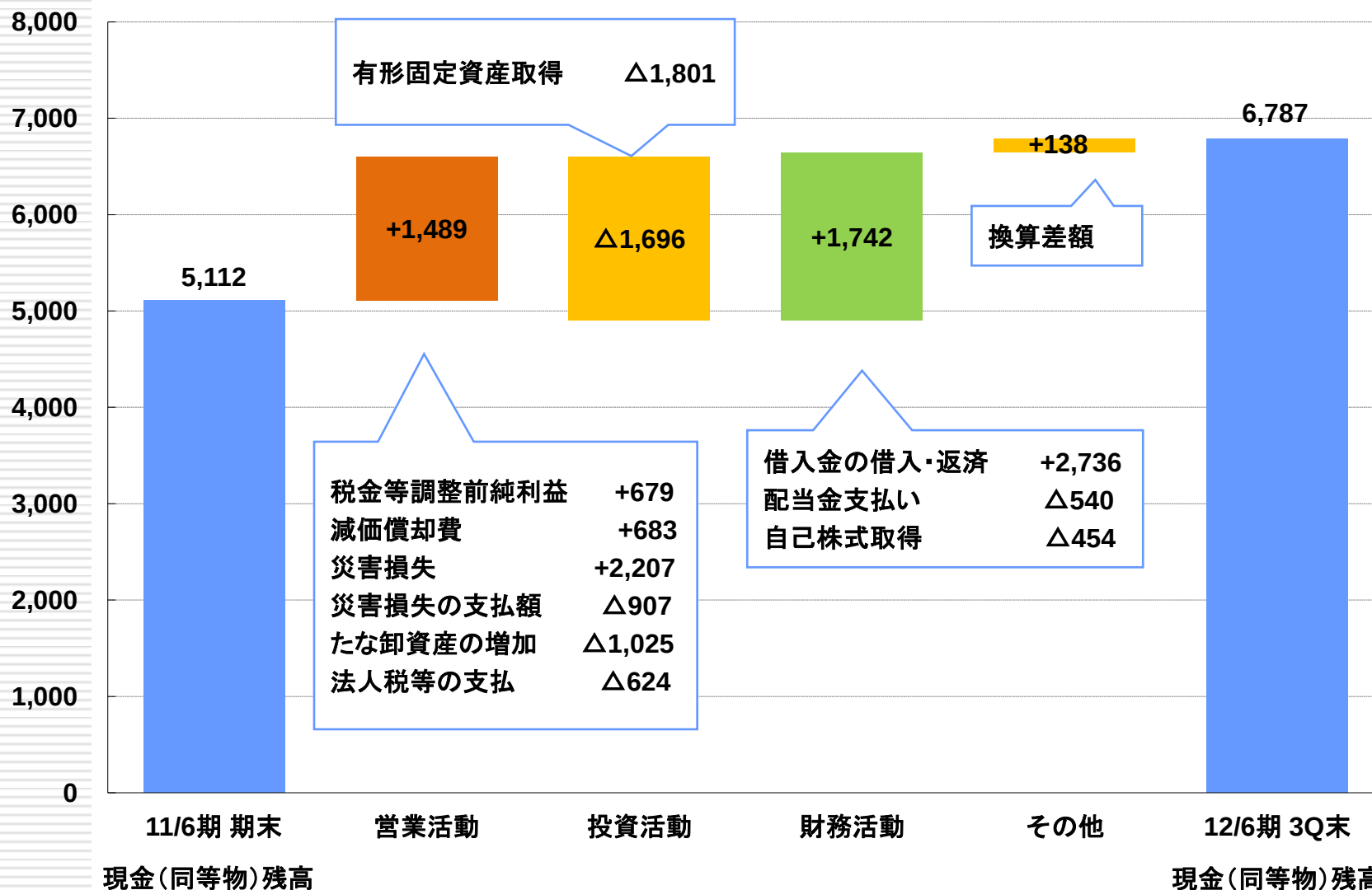
ご参考: 財務の状況

		2011年6月期 実績		2012年6月期 3Q末実績			
		金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
資産	流動資産	13,687	56.4	16,487	59.5	+2,800	現預金の増加 +2,427 有価証券(譲渡性預金)減少 △750 棚卸資産の増加 +547 その他(主に保険未収入金) +619
	固定資産	10,592	43.6	11,222	40.5	+629	有形固定資産の増加 +797 投資その他の資産の減少 △98
資産合計		24,280	100.0	27,710	100.0	+3,430	
負債	流動負債	5,103	21.0	7,029	25.4	+1,926	支払債務の増加 +286 短期借入金の増加 +760 災害損失引当金の計上 +380 その他 +455
	固定負債	4,278	17.6	6,218	22.4	+1,939	長期借入金の増加 +1,992
負債合計		9,381	38.6	13,247	47.8	+3,866	
純資産合計		14,898	61.4	14,462	52.2	△435	自己株式の増加 △454
負債・純資産合計		24,280	100.0	27,710	100.0	+3,430	



ご参考：キャッシュ・フローの状況

(百万円)





目次

1. 2012年6月期(3Q累計)連結決算の概要

2. 2012年6月期(通期)連結業績見通し



2012年6月期決算の見通し(連結)の前提

- 2012年6月期(3Q累計)決算は現在の開示予想に比べて好調に推移するものの通期予想は据え置き

<要因>

- タイ工場の復旧について、変動可能性があること
- 為替や株価市場の動向が不透明であること 等

(なお以下資料につきましては、2012年2月に開示した通期予想を記載しております。)



2012年2月開示と同資料

2012年6月期決算の見通し-1

タイ洪水の影響から通期計画を下方修正するも、中長期の成長戦略は変更なし

■ 売上高は14,401百万円(前年同期比△10.0%)を見込む

<増収要素>

- 日本市場: 主力製品PTCAガイドワイヤーの直販化に伴う収益拡大(2012年1月下旬～販売開始)
- 欧州市場: 2011年7月から始まった地域密着型の現地代理店を通じた販売が順調
代理店切替に伴う初期在庫以降のリピート需要が堅調に推移

<減収要素>

- タイ洪水に伴う影響
 - サプライチェーンの停滞影響を補うためにグループ全体の総力をあげて代替生産を実施
 - 末端市場の供給に影響が生じないことを最優先に供給量を調整
 - 代理店の安全在庫が充分にあり、末端市場への供給に影響が生じない製品については、当社グループから代理店への供給を調整
- 日本市場: PTCAガイドワイヤー国内直販化に向けた代理店の倉庫在庫圧縮に伴う供給縮小
病院預け在庫の買取(△602百万円)の発生
- 償還価格約10%の下落(影響額△225百万円)
- 円高に伴う為替の影響(△362百万円)



2012年2月開示と同資料

2012年6月期決算の見通し-2

- 営業利益は1,803百万円(前年同期比△44.5%)
 - 将来の成長性を持続し、さらに加速化させるための先行的な費用は継続投下
 - 他の諸費用については全社的に経費圧縮
 - 研究開発費用:カテーテル分野の強化に向けて費用投下(売上高比率12.8%)
 - 営業費用:国内直販化及び海外販売強化に伴う人員及び諸経費の増加
- 経常利益は1,781百万円(前年同期比△43.7%)
- 当期純利益は673百万円(前年同期比△68.9%)
 - タイ洪水に伴う保険金収入(1,404百万円)を特別利益に計上見込み
 - 災害による損失(1,972百万円)を特別損失に計上見込み

為替の前提	(単位:円)			
11/06 (実績)	US \$	82.70	BAHT	2.70
11/12 (実績)	US \$	77.48	BAHT	2.52
	EURO	109.49	中国元	12.12
12/01~ (計画)	US \$	77.00	BAHT	2.50
	EURO	98.00	中国元	12.00
12/06 (計画)	US \$	77.24	BAHT	2.51
	EURO	103.74	中国元	12.06

為替変動による営業利益の
影響・概算(主な通貨のみ)

US \$ (+1円の影響) : 約31百万円増加
BAHT (+0.1円の影響) : 約50百万円減少



2012年2月開示と同資料

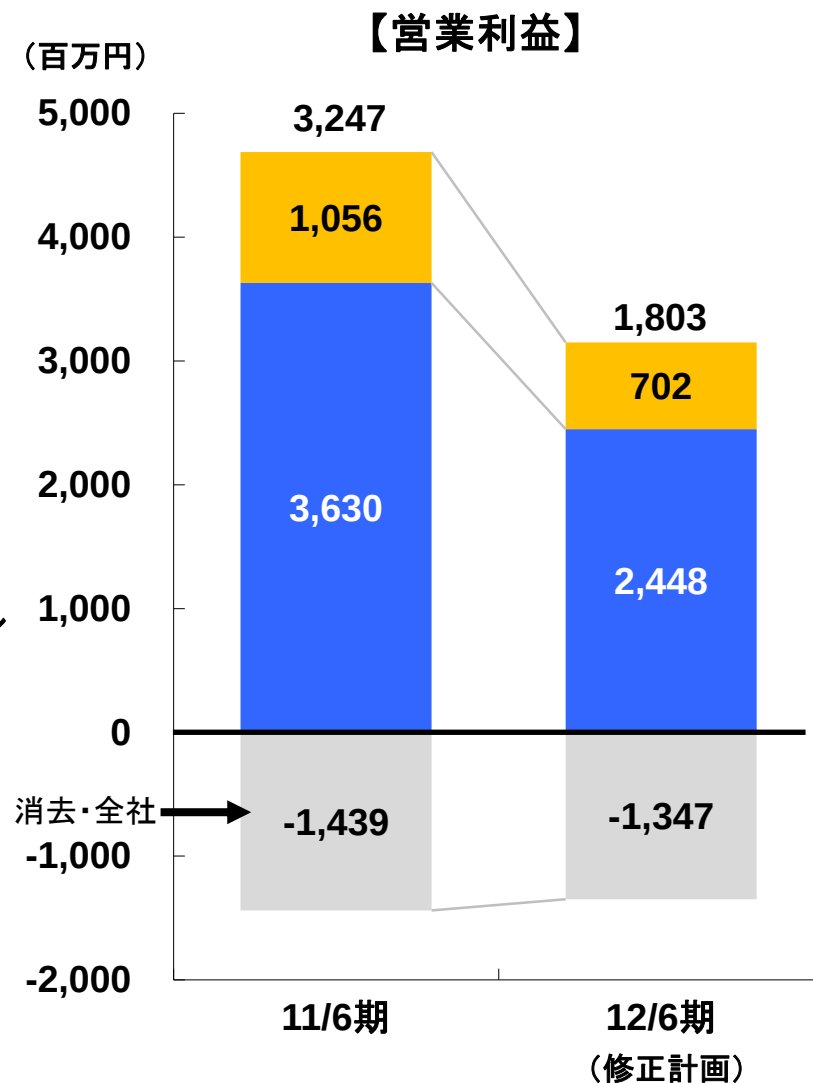
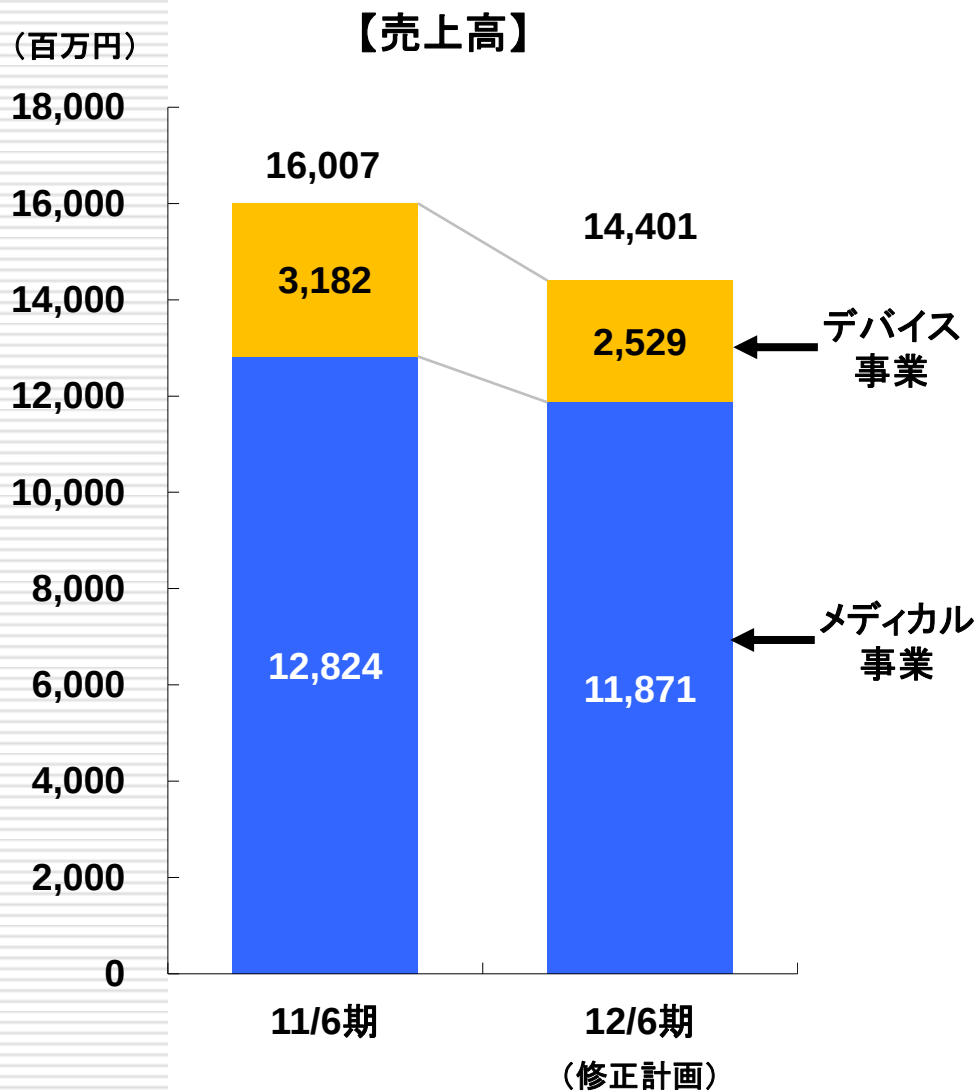
2012年6月期業績見通し

	2011年6月期(実績)		2012年6月期(計画)						
	金額 (百万円)	構成比 (%)	期初計画 2011/8/12	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比		期初計画比	
						増減額 (百万円)	増減率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	16,007	100.0	17,061	14,401	100.0	△1,605	△10.0	△2,659	△15.6
売上総利益	10,675	66.7	11,236	9,444	65.6	△1,230	△11.5	△1,791	△15.9
営業利益	3,247	20.3	3,303	1,803	12.5	△1,444	△44.5	△1,500	△45.4
経常利益	3,164	19.8	3,297	1,781	12.4	△1,383	△43.7	△1,516	△46.0
当期純利益	2,161	13.5	2,165	673	4.7	△1,488	△68.9	△1,492	△68.9
EPS	136.36円	-	136.59円	42.45円	-	△93.91円	-	△94.14円	-



2012年2月開示と同資料

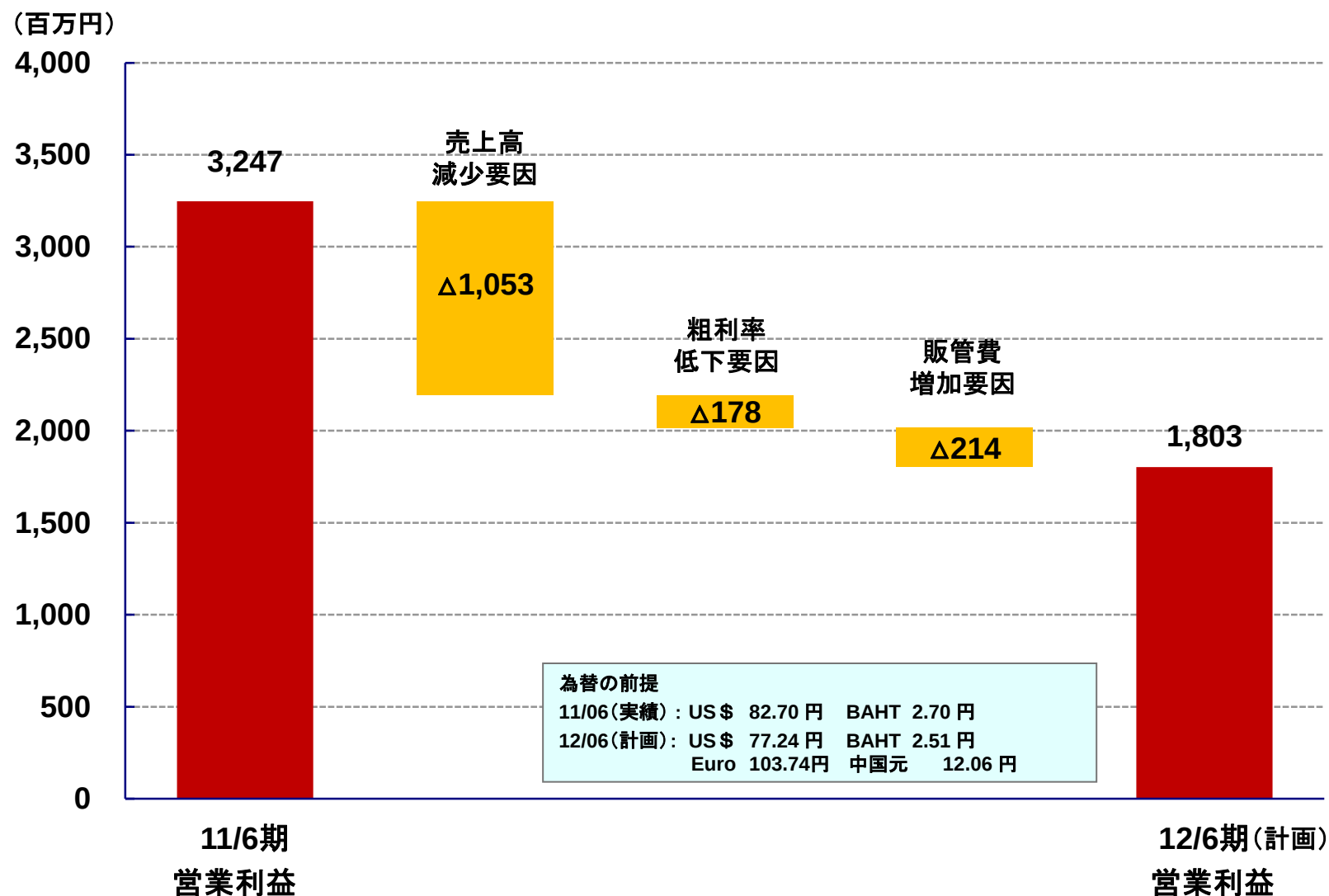
セグメント別の収益見通し





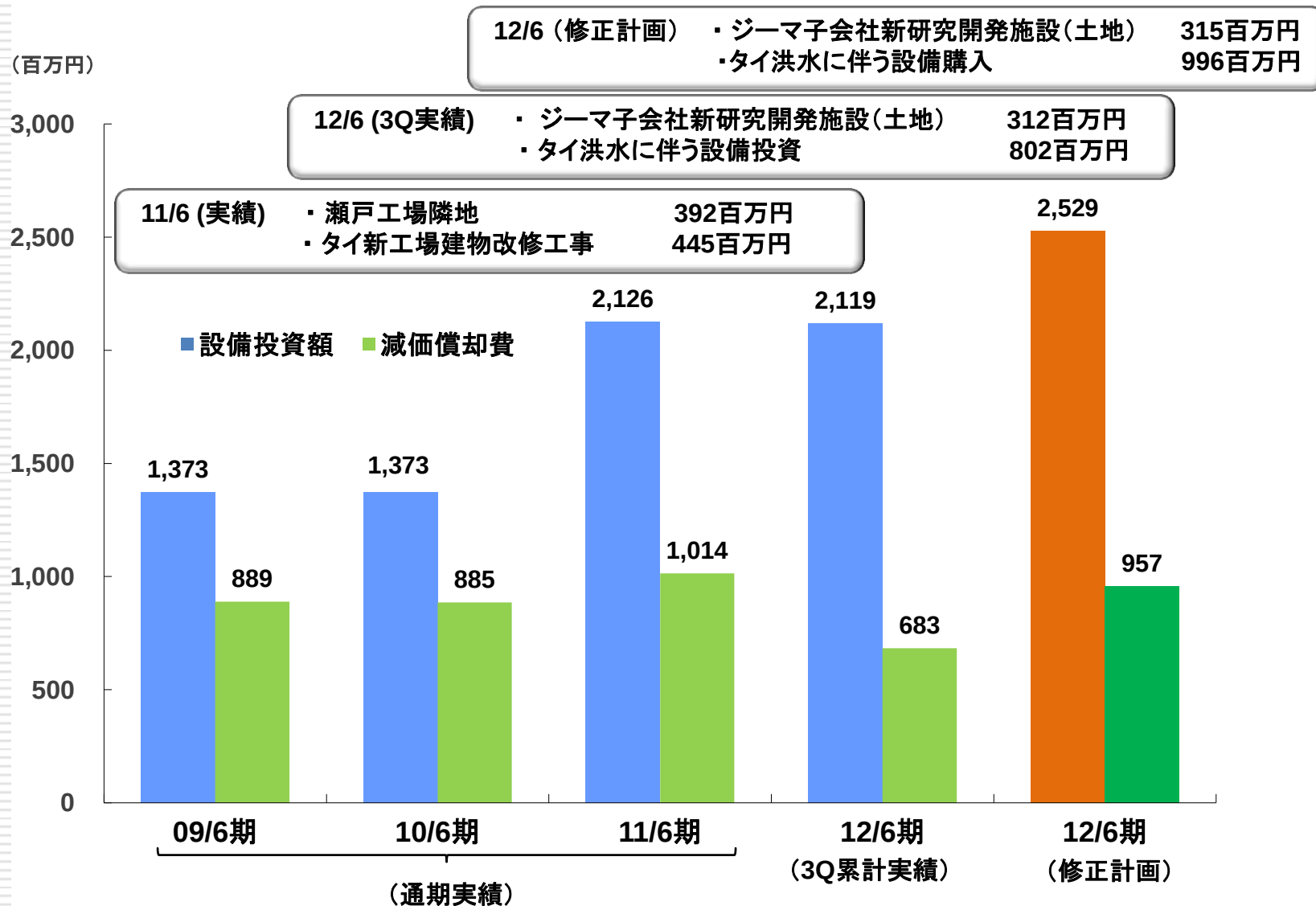
2012年2月開示と同資料

12/6期計画の営業利益増減要因分析





設備投資の実績及び計画

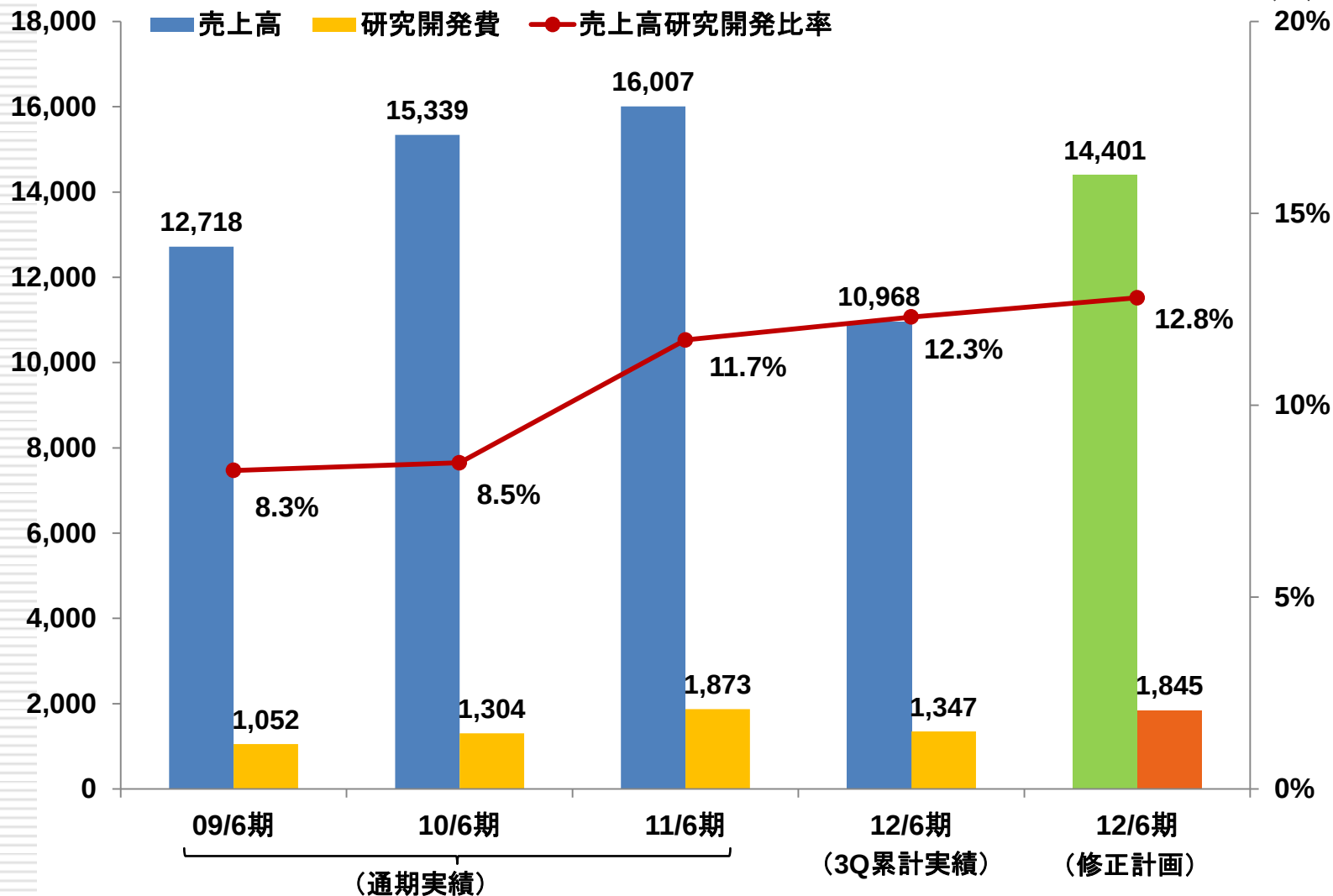




研究開発費の推移

売上高・研究開発費
(百万円)

売上高研究開発比率
(%)





本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>